



福山市

2025年度(令和7年度)重点政策 【実績まとめ】

安心と希望のための挑戦 約472億円
～地域の創生に向けて～

-
- 戦略的な地域の拠点づくり【約25億円】
 - こども・若者・高齢者が笑顔で暮らせる社会づくり【約140億円】
 - 都市の発展を支える基盤づくり【約307億円】

地域の特色を生かした魅力とにぎわいの創出

地域の拠点づくり戦略の策定

- 地域と行政が共通認識を持ち、地域の価値を高める取組を推進していくため、先行して拠点づくりに取り組む6地域(神辺、松永、新市、沼隈・内海、駅家)の議論・取組やこれからのまちの未来についてまとめ、策定・公表



地域力アップデート大会議の開催

参加者数:118人

- 拠点づくりに取り組む地域間の連携を促進



各地域の拠点づくりの取組

神辺地域

- 神辺駅西側の公共空間の利活用の実証実験等を通じた新たなまちづくり団体の設立



松永地域

- イベント開催による「非日常」のにぎわいを「日常」につなげるため、松永駅北口を考えるワークショップを開催



新市地域

- 新市ならではのかわまち広場づくりに取り組むため、意見交換会やまち歩き、勉強会を実施



沼隈・内海地域

- 未来の沼隈・内海地域のまちづくりを話し合う意見交換会やまち歩きを実施



駅家地域

- 駅家公園を地域の「憩いの場」「交流の場」にするために取り組む、活性化協議会の設立



持続可能なコミュニティづくり

大和建設まちテラスふくやまの整備 2026年(令和8年)9月6日供用開始

- 交流・連携、相談支援などまちづくり活動に関する様々な支援を行う拠点施設として整備



地域づくり塾の開催 参加者数:24人

- まちづくり活動のリーダーとして活躍できる人材を育成(全3回連続講座)



地域が主体となった魅力ある公園づくり

- 少子高齢化等に伴い、利用が少ない公園や地域で維持管理ができない公園などを、市民のアイデアで利活用する取組を実施



緑町公園



手城第2公園



坂里公園



長和島公園



倉光第1公園



横黒公園

多文化共生の推進

- 在住外国人生活相談員による相談窓口を設置し、外国人市民の生活に関する多様な相談に対応
- 地域における多文化共生理解を深めるため、外国人市民を取り巻く現状や、やさしい日本語を伝える講座を実施
参加者数:125人(全4回開催)

在住外国人生活相談件数(件)

4,534 5,282



2024年度 2025年度

福山ネウボラの更なる強化

ネウボラセンターのオープン 2025年(令和7年)9月6日

- こども・若者・子育て家庭への支援の拠点として、子育てや若者の相談、保育所入所などの手続、遊び・交流の機能を集約した施設を天満屋福山店にオープン



2025年度(令和7年度)利用者〔2025年9月6日～2026年3月31日〕
延べ9万人を突破

(内訳)	屋内遊戯場(0～3歳向け)(拡充)	延べ33,072人
	屋内遊戯場(4～8歳向け)(新規)	延べ26,263人
	えほんの国	延べ29,835人
	子育て相談	1,396件
	若者相談(不登校、ひきこもりほか)(新規)	109件
	手続(保育所等入所ほか)(新規)	718件

屋内キッズスペースの試行設置

市内交流館10館に設置

- 子育て家庭やこどもの新たな居場所として、交流館にキッズスペースを試行設置



個性や能力を伸ばす教育の実現

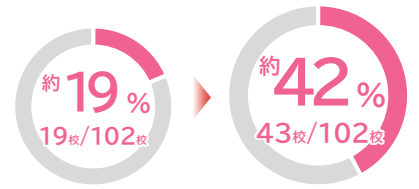
問題データベースを活用した学習支援の実施

- モデル校において、基礎から応用まで対応した問題データベースを導入し、児童生徒一人一人のつまずきに応じた学習支援を実施
(モデル校:全27校 うち小学校16校、中学校11校)

コミュニティ・スクール導入校の拡大

コミュニティ・スクールの導入率

- 保護者・地域住民が、当事者として学校運営に参画、児童生徒の成長を支援する体制を構築



2024年度 2025年度

(仮称)子ども未来館プロジェクトの推進

- 次代を担うこどもたちが最新の科学技術等に触れ、体験を通して楽しく学ぶことができる(仮称)子ども未来館を整備するため、整備運営事業者の公募を開始
(2029年度(令和11年度)供用開始予定)

未来を創造する若者の活躍促進

高校生・大学生向けライフ＆キャリアセミナーの開催

参加者数: 39人(高校生28人・大学生11人)、参加企業数: 4社

- 地元企業の従業員との交流などを通じて、福山で働き、暮らす将来やキャリアについて考える機会を提供



福山市立大学 情報工学部の新設に向けた取組

- 新棟の基本・実施設計、建設工事開始、カリキュラムの編成、教員の確保



福山夢・未来開花プロジェクトの実施

参加者数: 未来づくりコース10人、夢の応援コース3人

- 小学5年生から高校生を対象に、福山への愛着を深め、「実行する力」「やりきる力」「未来を創る力」を育成するため、夢の実現や福山の未来づくりに向けてチャレンジする機会を提供



人生100年時代の高齢者支援の充実

認知症啓発イベントの開催 参加者数: 419人

- 9月の認知症月間に合わせ、認知症への理解を深めることを目的に、映画上映や講演会、認知症パネル展、認知症カフェ体験会、本人・家族ミーティングを実施

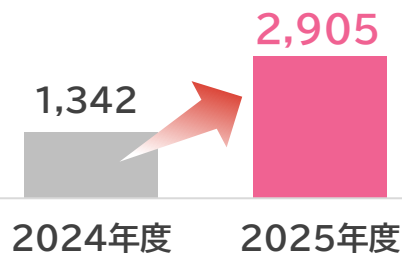


民間活力を活用した介護予防の実施

- 健康寿命の延伸を図るため、PFS(成果連動型民間委託契約方式)により、民間事業者のノウハウを活用した介護予防事業を実施



PFSによる介護予防事業の参加者数(人)
※2024年(令和6年)8月から開始



Rose Expo & 世界バラ会議福山大会の開催

Rose Expo FUKUYAMA 2025の開催 2025年5月17日～5月19日
(令和7年)

来場者数：約21,000人

- 新品種ばらの展示・関連商品の販売、著名人によるトークショー、地域花壇の紹介等を通じて、福山のばらのまちづくりの歴史やばらの魅力を国内外へ発信



第20回世界バラ会議福山大会2025の開催 2025年5月18日～5月24日
(令和7年)

参加者数：723人(28か国・地域)

日本政府観光局(JNTO)による
「2025年度国際会議誘致・開催貢献賞 国際会議開催の部(中小規模会議部門)」受賞

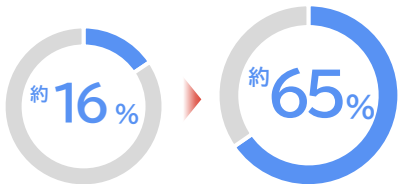
- ユニークベニユーを活用したプログラムの展開や、ドイツツアー・ボランティア等を通じた市民交流のほか、ばらの新品種国際コンテストを実施



大会の成果 4つのレガシーを今後さらに発展

- ばらであふれるまち
▶大会記念ばらを活用した景観づくり、企業・地域ばら花壇の充実
- ばらのまちづくりの歴史・ローズマインド
▶ばらのまちづくりの歴史の発信、Rose & Peace教育の推進
- ばらを愛する多くの市民
▶ばら栽培技術の習得者の増加
- 国際会議を成功に導いたまちの力
▶MICEボランティア制度・活躍機会の創出

世界バラ会議福山大会開催の市内認知度



2020年度 2025年度

出典：福山市調査(福山市情報発信に係るインターネット調査)

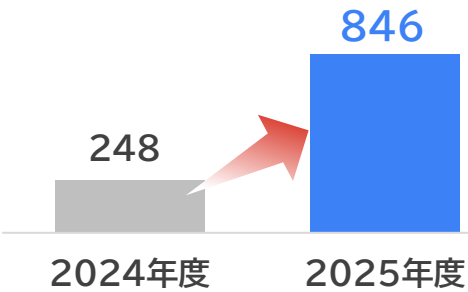
備後圏域の産業の活力向上

ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPOの開催 参加者数:約900人

- 働き方改革に先進的に取り組む企業の事例紹介やセミナー、体験型ブース等を通じて、企業や子育て世代等が働き方改革について学び、交流する機会を創出



グリーンな企業チャレンジ宣言企業数(社)



デニム産地の認知度向上・販路開拓

トークイベント参加者数:約400人、商談件数:12件

- 備中備後ジャパンデニムプロジェクト10周年記念トークイベントやバイヤーを招へいた商談会、JR福山駅でのデニム装飾などを実施



都市基盤の整備

幹線道路網の整備促進

- 期成同盟会による総決起大会の開催及び要望活動
福山道路(笠岡西～長和)と神辺水呑線の
新規事業化(2026年(令和8年)4月)

※福山道路(笠岡西～長和)は、2026年(令和8年)3月に新規事業化(2026年度(令和8年度))の候補に選定
神辺水呑線は、2026年(令和8年)3月に新規事業化(2026年度(令和8年度))が決定

- 今津高西線を新規事業化し、概略設計を実施



企業誘致の推進

- エフピコRiM本館2階フロアの事業候補者を選定

魅力的な働き方や先進的な
取組が生み出される拠点へ



福山駅前広場再編事業の実施

- 福山駅前広場整備基本計画(案)の取りまとめ
- 福山駅周辺へ官民で駐輪場83台を整備(おもいやり駐輪スペース21台を含む)

福山駅前通り(西側)路線価(千円)



出典:広島国税局(路線価等について(2021年(令和3年)分～2026年(令和8年)分))

安心・安全で快適な生活環境の整備

避難所等の環境整備

- 基幹緊急避難場所となる
学校体育館25校のうち**21校に空調を整備**
(2026年度(令和8年度)までに全25校整備予定)

空調整備率



2025年度



浸水・豪雨対策の実施

- 蔵王雨水幹線を暫定的に供用開始
雨水貯留量:約15,000 m³(25mプール約50杯分)
- 防災重点ため池の遠隔監視システムの設置
市内53か所 ※2026年度(令和8年度) 市内53か所に追加設置予定



バス共創プラットフォームを通じた公共交通の再構築

- 路線バス100円 2ウィークスによる
バス利用のきっかけづくり
実施期間中、利用者が約1.2倍に増加
 - 実証運行の実施
大谷台線、多治米車庫線の増便
福山市民病院線の増便
新未来トンネルの新路線
- ▶▶▶ 利用者が増加したため、実証実験後も定期便として運行



市民生活応援給付の実施 2026年(令和8年)2月～給付開始

- 物価高騰対策として、市民1人当たり5,000円分の商品券を給付
※住民税非課税世帯又は住民税均等割のみ課税世帯に属する方には5,000円分を加算し、10,000円分を給付

歴史・文化、スポーツによるにぎわいづくり

国宝化の機運醸成に向けたシンポジウムの開催 参加者数:185人

- 文化財の次世代への継承を目的に、「福山城伏見櫓、筋鉄御門、吉備津神社本殿、沼名前神社能舞台」の
国宝化の機運醸成に向けたシンポジウムを開催



スポーツに触れ合う機会の提供

- 全国高等学校総合体育大会を開催
(競技種目:少林寺拳法、テニス、ローイング、水泳(飛込))
出場選手数:2,267人、観客数:20,036人
※福山市で開催した競技に係る人数
- オリンピック(オリンピック出場経験アスリート)が生徒たちに
「オリンピックの価値」等を伝える、JOCオリンピック教室を開催
開催校:6校(13クラス)

